

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	山北駅北側定住促進住宅整備事業	階数	地上6F
建設地	神奈川県足柄上郡山北町山北字鶴野1840番	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	135人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年3月 予定	評価の実施日	2013年3月6日
敷地面積	1,658 m ²	作成者	株式会社 アイ・エフ建築設計研
建築面積	863 m ²	確認日	
延床面積	3,538 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

参照値: 100%

建築物の取組み: 71%

上記+ 以外の: 70%

上記+: 70%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		その他
総合 外構・植栽計画、建物高さ・色彩計画などで、周辺環境・街並みに配慮した美しい計画とする。 敷地の北側に集会所を設け、隣地の駅、交流センター、商業施設、既存商店街とともに地域コミュニティ形成の場となるよう計画している。		
Q1 室内環境 内装材にF規格品を採用し室内空気環境に配慮。	Q2 サービス性能 躯体は劣化対策等級3相当とし、また、設備配管に耐用年数の長いものを採用するなど、建物の長寿命化に配慮。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地北側の沿道に緑地帯を設け緑豊かな街並みを計画。開放的な空間形成、死角や袋小路を作らない等防犯に配慮。
LR1 エネルギー 太陽光発電設備の採用。 高効率設備機器を採用。	LR2 資源・マテリアル PS配管、床コログジ配管の採用により、内装材と設備が錯綜しないようにし、再利用可能向上への取組みに配慮。 リサイクル材を採用。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出量を参照値より約30%低減。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される